

枚方市公園施設長寿命化計画【概要版】

令和6年3月



1. はじめに

本市では、平成25年度に市が管理する都市計画公園のうち84箇所の公園について、施設の老朽化に対する安全対策の強化と、将来の改築・更新に係るコストの縮減や平準化を図ることを目的として、公園施設長寿命化計画（第1期）を策定し、以降、長寿命化対策を実施してきました。具体的には、従来の老朽化してから修繕や更新を実施する「事後保全型」の管理から、費用的なメリットのある公園施設に関して、老朽化が進行する前の段階から計画的に手入れを行い、できるだけ長持ちさせる「予防保全型」の管理へと転換し、施設の長寿命化（トータルコストの縮減、予算の平準化、安全性の確保）を行っています。

現在、第1期計画では対象としていなかった公園を含め、公園施設の老朽化が顕著化してきており、対策を必要とする施設が数多く残っています。そのため、新たに105箇所の公園について、第2期計画として公園施設長寿命化計画を策定しました。本計画は、従来から進めてきた都市公園における長寿命化の取組を継続し、今後10年間の具体的な公園施設の維持管理の方針を示すものです。

2. 計画の対象及び期間

本計画の対象公園は「都市公園法第2条に基づく都市公園」のうち、本市の保有する街区・近隣・地区・総合公園等を対象としています。

- ◆第1期計画 計画期間：2014（H26）年度～2023（R5）年度（10箇年）
 計画対象公園：全84箇所
 （総合公園2箇所、地区公園4箇所、近隣公園1箇所、街区公園63箇所、
 歴史公園1箇所、都市緑地1箇所、その他3箇所）
- ◆第2期計画 計画期間：2024（R6）年度～2033（R15）年度（10箇年）
 計画対象公園：全105箇所
 （総合公園1箇所、地区公園1箇所、街区公園103箇所）

3. 施設の状況

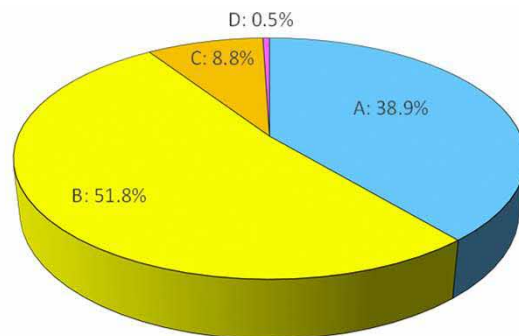
2期計画の対象公園施設の105公園（約7600施設）の内、「予防保全型」の管理を行うのにふさわしい施設の状況を把握するため、健全度の調査を行いました。

（1）一般施設、土木構造物、建築物

国土交通省の公園施設長寿命化計画策定指針に則り、健全度調査を実施しました。健全度調査は、既往の点検結果等を踏まえ、予防保全管理施設627施設を対象に実施しました。

施設 (施設数)	健全度判定			
	A	B	C	D
一般施設 (622)	242	324	53	3
土木構造物 (1)	0	0	1	0
建築物 (4)	2	1	1	0
合計 (627)	244	325	55	3

一般施設・土木構造物・建築物の健全度の割合

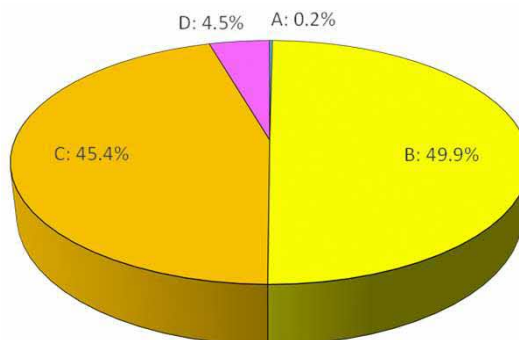


（2）遊具等

日本公園施設業協会の遊具の点検マニュアルに則り点検を行いました。423施設を対象に実施しました。

施設 (施設数)	健全度判定			
	A	B	C	D
遊具 (423)	1	211	192	19

遊具の健全度の割合



※健全度評価の基準は、以下のとおりです。

判定	評価基準の内容
A	・全体的に健全である。 ・緊急の補修の必要はないため、日常の維持保全で管理する。
B	・全体的に健全だが、部分的に劣化が進行している。 ・緊急の補修の必要性はないが、維持保全での管理の中で、劣化部分について定期的な観察が必要。
C	・全体的に劣化が進行している。 ・現時点では重大な事故につながらないが、利用し続けるためには部分的な補修、もしくは更新が必要。
D	・全体的に顕著な劣化である。 ・重大な事故につながる恐れがあり、公園施設の利用禁止あるいは、緊急な補修、もしくは更新が必要。

例：遊具の支柱の健全度評価

[健全度:A]



[健全度:B]



[健全度:C]



[健全度:D]



状態：良

状態：悪

4. 計画の基本方針

(1) 推進する取組

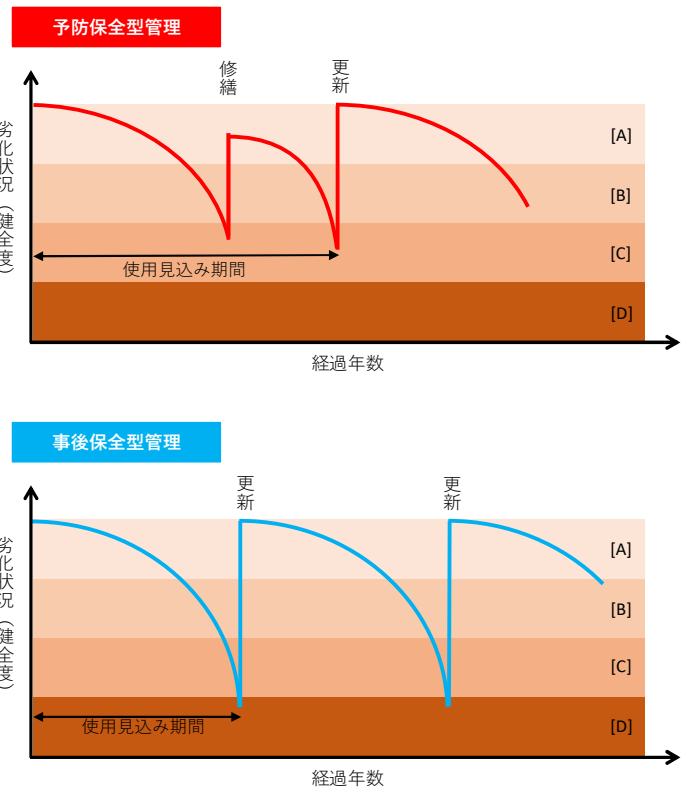
本計画では第1期計画及び計画策定の指針となる「公園施設長寿命化計画策定指針（案）」をもとに公園施設の長寿命化の取組を推進します。

公園施設の維持管理方法について、施設毎に「予防保全型管理」と「事後保全型管理」に分類します。

このうち、「予防保全型管理」の施設については健全度の回復する修繕（長寿命化）工事を行います。管理類型のイメージは右図のとおりです。

また、施設の修繕や更新は、優先順位を設定して費用を平準化しながら事業を実施します。

管理類型のイメージ



(2) 管理類型の設定

本計画での主な公園施設の予防保全型の施設は以下のとおりです。下表の内、大きさや材質により別の管理類型に分類される施設もあります。

施設の種類	主な公園の施設
園路広場	デッキ
休養施設	パーゴラ、四阿、シェルター
遊戯施設	ぶらんこ、すべり台、鉄棒、ジャングルジム、シーソー、複合遊具、健康遊具、アスレチック遊具
運動施設	スコアボード、バスケットゴールポスト
便益施設	便所
管理施設	夜間照明灯、防球ネット

5. 長寿命化の実施について

(1) 実施事業の選択と優先順位

公園施設の長寿命化における対策は、基本的に損傷や劣化が大きいもの、または、使用見込み期間が超過している施設から優先して行うことを基本とし計画しています。

優先順位は「健全度判定」「管理類型」「供用年度」などを基に設定しています。優先順位の基本的な考え方として、**健全度の低いD・Cランク**の施設を優先します。

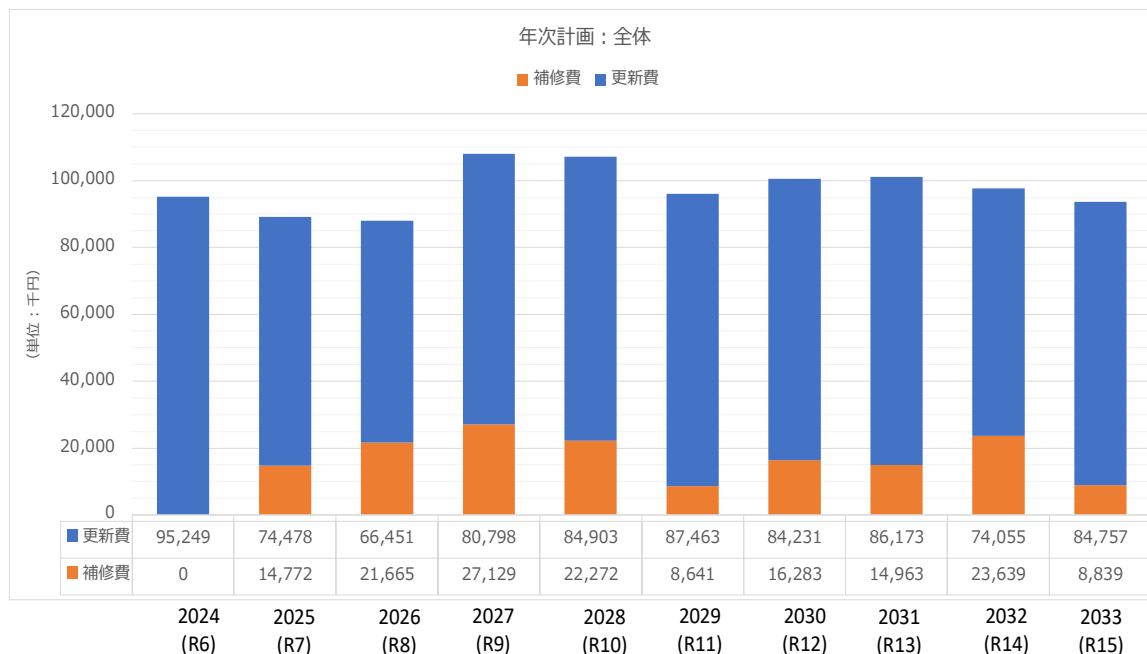
(2) 工事箇所選定の方針

施工性を考慮し、極力、同じ公園内の施設の工事を同じ年度で行うことを前提とし、公園ごとの優先順位は、健全度の低い施設の数、公園の大きさ、供用年度、面積、遊具の安全領域不適合の施設数などを考慮し、決定しています。

6. 事業費と効果

本計画で設定した更新費の概算額は、10年間で約8億円、単年度では約8,000万円です。一方、計画で設定した事業を行うことで、単年度あたりのライフサイクルコストは約390万円縮減すると算定されます。

2024(R6)	2025(R7)	2026(R8)	2027(R9)	2028(R10)	2029(R11)	2030(R12)	2031(R13)	2032(R14)	2033(R15)
95,249更新費	74,478更新費	66,451更新費	80,798更新費	84,903更新費	87,463更新費	84,231更新費	86,173更新費	74,055更新費	84,757更新費
0補修費	14,772補修費	21,665補修費	27,129補修費	22,272補修費	8,641補修費	16,283補修費	14,963補修費	23,639補修費	8,839補修費
95,249合計	89,250合計	88,116合計	107,927合計	107,175合計	96,104合計	100,514合計	101,136合計	97,694合計	93,596合計



2024-2033計	
818,558	更新費
158,203	補修費
976,761	合計